

2024年3月11日発行

東海生研 ～メールマガジン 第231号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の個別相談は日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援（共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ）、事業化支援などを行っています。

(連絡先)

事務局長 岩佐 E-mail: npo-tokai*ab.auone-net.jp (*を@に書き換えてください)

電話：052-789-4586

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆「あいち農業イノベーションサミット2024 ～テクノロジーが導く農業現場の変革～」

愛知県では、農業分野の課題の迅速な対応のために、産官学が連携したイノベーション創出を目指す、「あいち農業イノベーションプロジェクト」に取り組んでいます。本イベントでは先進的な取組を行う農家、スタートアップ、自治体によるトークセッション、あいち農業イノベーションプロジェクトの取組紹介を行います。

日時：2024年3月21日（木）14時～16時30分

場所：アンフォーレ 本館 [1階・ホール]

(愛知県安城市御幸本町 504 番地 1 〈JR 東海道本線安城駅南口から徒歩 5分〉)

定員/参加方法：現地参加 100名/Zoom※オンラインによるハイブリッド開催

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2023nogyoinobehoukoku.html>

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

令和6年3月4日～令和6年3月19日まで

「農泊を楽しみませんか」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/tokubetsu/index.html>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆新たなライフスタイルに対応した野菜や果物の生産・流通・消費

多様でバランスの取れた健康的な食事における野菜や果物の役割、変化するライフスタイルに求められる野菜や果物の機能について、栄養成分とその効果、機能性を高める栽培方法や食べ方を紹介しながら、そして食の未来について考える。

開催日時：令和6年3月22日（金曜日）13時30分～15時00分

受講方法：オンライン開催

申込期限：令和6年3月17日（日曜日）まで

<https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/event/seminor/240322.html>

4. 農林水産・食品分野の公募情報

【研究開発関連】

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和6年度放射性物質測定調査委託事業」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：福島県及びその周辺における農畜産物及び土壌の放射能汚染レベルの動向把握

公募期間：2024年2月5日～4月8日

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和6年度放射能調査研究委託事業のうち「農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明

公募期間：2024年2月5日～4月8日

☆農林水産省（消費・安全局）：「令和6年度 安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/gijyutu/240206.html>

分野等：

短期課題解決型研究

1. 動植物検疫におけるAIを活用したX線画像解析による輸入検査技術・システムの開発に向けた調査研究
2. 海洋環境の変化を踏まえた貝毒低減等安全性向上に係る技術開発、検証

公募期間：2024年2月6日～3月29日

☆文部科学省：「令和6年度宇宙航空科学技術推進委託費（の内、航空脱炭素技術等創出プログラム）」

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1401208_00010.htm

分野等：航空機の水素燃料・電動化技術や機体軽量化・効率化による温室効果ガス排出量の抜本的低減に資する技術といった、航空分野における脱炭素化に資する技術の開発・高度化や、航空分野と異分野の技術シーズ・ニーズのマッチングによる、農林水産業や気候変動、環境、交通・物流等の様々な分野における脱炭素化への取組を推進することで、将来的なカーボンニュートラルの実現及び航空分野の新たな可能性開拓に向けた価値創出・提供を目指す。

公募期間：2024年2月16日～4月10日

☆経済産業省：「令和6年度 成長型中小企業等研究開発支援事業」

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2024/240216kobo.html>

分野等：中小企業者等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けて、大学・公設試等と連携して行う研究開発等。

公募期間：2024年2月16日～4月16日

☆JST：「2023（令和5）年度 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP 実装支援（返済型）」

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html>

分野等：大学等の研究成果の社会実装を目指す、ベンチャー企業等による実用化開発を、開発費の貸付により支援する。出資（エクイティ）と異なり、株式を発行せずに調達可能な資金（デット）として、ベンチャー企業等に利用いただくことを想定している。

公募期間：2023年4月1日～2024年3月31日（随時、応募相談・選考を行い採否を判定する）

☆JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和6年度採択「代替エネルギー」分野、「農業（食料）」分野 共同研究課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_easia_jrp_13th.html

分野等：

1. 「代替エネルギー」分野の想定される研究テーマ
 - ・再生可能エネルギー
 - ・蓄エネルギー
 - ・エネルギーマネジメントシステム
2. 農業（食料）分野の想定される研究テーマ
 - ・農業に関する革新的なセンシング手法、データ収集手法、分析手法の開発
 - ・AI を利用した画像解析等による病虫害発生警報システムおよび植物病害診断アプリケーションの設計
 - ・AI と GPS、無人航空機(UAV)およびその他の自動化技術による、圃場管理、収穫、輸送および包装等における統合された持続可能な管理に関する研究
 - ・圃場管理状況を含む作物・食品のリアルタイムモニタリングのためのトラック&トレースシステム（検査・認証システム）の開発
 - ・新規就農者支援や経験伝達のための ICT を用いたマニュアルの作成
 - ・農場から食卓までの情報を含む統合型のデータプラットフォームの開発
 - ・新技術への投資を含む、気候変動対応型スマート農業に関する社会科学的な分析

公募期間：2023年12月15日～2024年3月29日

☆JST：「2024年度 先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）における日英共同研究提案の募集」

https://www.jst.go.jp/inter/aspire/program/announce/announce_aspire2024_uk.html

分野等：エンジニアリングバイオロジーの基礎と分野横断的な技術開発に焦点を当て、日本と英国によるトップレベルかつ国際競争力ある共同研究の実施と、優秀な

若手研究者等の研究交流を支援する。

公募期間：2024年1月15日～4月16日

☆NEDO：「2024年度エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100228.html

分野等：欧州等海外の規制に合致するバイオマスプラスチック類に関する国際共同研究開発等

公募期間：2024年1月26日～3月26日

☆NEDO：「2024年度NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジ」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00061.html

分野等：NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジは、脱炭素社会の実現に向けて、課題の解決に資する技術シーズを発掘し、先導研究を実施することで、産業技術に発展させていくことを目的とする。未踏チャレンジでは、事業開始後30年先の技術の実用化・社会実装を実現していくため、大学・公的研究機関等や産業界が有する将来有望な技術シーズを公募する。当該技術シーズを有する事業者に対して業務委託することで先導研究を実施し、有望な技術を育成する。

公募期間：2024年2月1日～4月1日

☆NEDO：「2024年度脱炭素化・エネルギー転換に資する我が国技術の国際実証事業（実証要件適合性等調査）（第1回公募）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100230.html

分野等：S+3E（安全性、環境適合+脱炭素化、経済性、安定供給）の実現に資する日本の先進的技術の海外実証を通じて、実証技術の普及に結び付ける。さらに、制度的に先行している海外のエネルギー市場での実証を通じて、日本への成果の還元を目指す。これらの取組を通じて、日本のエネルギー関連産業の国内外への展開、国内外のエネルギー転換・脱炭素化、日本のエネルギーセキュリティに貢献することを目的としている。

公募期間：2024年2月22日～3月25日

☆総務省（業務実施機関：（株）角川アスキー総合研究所）：「令和6年度スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業 ICTスタートアップリーグ」

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000393.html

分野等：先端的なICTを創出・活用する次世代の産業の育成を目指し、公募を経て選ばれた、起業や事業拡大を目指す個人またはスタートアップによる、ICTに関する研究開発に対して研究開発費を支援するとともに、全国各地・各分野の支援機関ネットワークを活用した伴走支援を行い、官民の役割分担の下、芽出しの研究開発から事業化までの一気通貫での支援を実施する。

公募期間：2024年2月21日～3月31日

【研究開発関連以外】

☆上記以外の情報については、下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を

掲載していますのでご覧ください。

東海生研ホームページの NEWS (お知らせ) の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆農業資材

○酵素パワーで生分解性プラスチック製品の分解を加速

- 農業用マルチフィルムの鋤き込みで効果を実証 -

農研機構農業環境京急部門は、生分解性プラスチックを分解する酵素を用いて、野菜の栽培に使う耐久性の高い生分解性農業用マルチフィルムを、畑に敷いたまま、分解を加速させる方法を実証しました。フィルムは、酵素を散布処理した翌日には強度が下がり、壊れやすくなるため、土の中へ鋤(す)き込み、分解を促す処理が容易になります。これにより、生分解性プラスチックを使用者が望むタイミングで分解を促進できれば、処理労力を画期的に低減できるため、利用場面が広がり、ごみの削減に役立ちます。

・農研機構 HP:

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niaes/158894.html

☆花き関係

○新しい鉢花「ビジューマム」

マーガレットとローダンセマムの交配に世界で初めて成功し、従来にない鮮やかな花色、鉢物や花壇苗に適したコンパクトな草姿の「ビジューマム」シリーズを育成しました。「ビジューマム」の特徴は、(1)1月から6月にかけて開花します、(2)既存のマーガレットやローダンセマムと異なる鮮やかな花色が特徴です、(3)コンパクトな草姿のため鉢物・花壇苗の用途として生産、観賞できます。「ビジューマム」の生産は、静岡県と契約した生産者によって令和4年から生産が開始され、全国に出荷されています。

・静岡県 HP:

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/izunogyo/1047867.html>

.....

編集後記

2023年度もあと1か月を切りました。もう少しすれば、桜の便りが聞かれてきます。桜の開花には、冬の寒さと春に向けて暖かくなっていく気温が影響しています。今年の開花予想は、平年より早いか平年並みとされています。年度内にやらなければならないことも多いと思われませんが、計画的に仕事を進めて落ち着いた気分で花見をしたいものです。さて当研究会は、今年度、セミナーなどのイベントを開催し、また、技術相談等への対応をしてきました。皆様方にはこれらの活動にご理解、ご協力をいただき感謝いたします。来年度も産学連携、事業化等の様々なご要望に対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録 (無料) ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>